

OBRIGADA PORTUGAL

Oita Japan Portugal Association

「オブリガダ」とは、ポルトガル語で「ありがとう」（女性が言う場合）の意味です

第8次アベイロ市親善訪問団が大分市を訪問（2025年5月20日～22日）



足立市長への表敬訪問(中央がエステベス市長)

■親善訪問団歓迎会 5月21日 大分オアシスタワーホテル

当会及び大分市国際交流親善会議(※)との共催により親善訪問団の歓迎会を開催しました。足立市長の歓迎の挨拶に続き、エステベス市長から挨拶をいただき、杉村会長乾杯の後には和やかな歓談が行われました。会の中盤では、姉妹都市提携45周年を記念したアベイロ市制作の動画が上映され、両市の交流の歩みを振り返りました。さらに大分シンフォニック・ウインド・オーケストラによる演奏が披露され、会場は華やかな雰囲気になりました。最後に、安部副会長から締めのご挨拶があり、訪問団と会員、市民とが絆を改めて深める意義ある会となりました。(※)大分市と外国都市との国際交流を通じて、市民の国際理解を深めるとともに、外国都市との友好親善を円滑に促進するために設立され、行政ほかさまざまな分野の代表者等で構成

■訪問概要

2025年5月23日にEXPO 25 大阪・関西万博 ポルトガルパビリオンにて『Sagres em Aveiro 2024 (サグレス・イン・アベイロ2024)』の出版を記念した書籍出版記念式典が開催されることを契機に、第8次アベイロ市親善訪問団が大分市を訪問されました。アベイロ市からの訪問団の来訪は、7年ぶりです。

ジョゼ・リバウ・エステベス市長のほか4名の親善訪問団の訪問は、3日間という短い滞在日程でしたが、足立市長への表敬訪問をはじめ、大道小学校、平和市民公園能楽堂、南蛮BVNGO交流館、遊歩公園、万寿寺などを視察されました。各所で市民や関係者との交流が行われ、文化や歴史に触れる機会を通じて両市の絆を一層深めることができました。



親善訪問団歓迎会



大分市立大道小学校にて、児童が給食でポルトガル料理を味わう機会が設けられました



大友氏館跡庭園にて、陣羽織などの衣装を着て、大友氏の歴史やポルトガルとの交易などの説明を受けました



平和市民公園能楽堂にて、表千家同門会大分県支部のメンバーから手ほどきを受けて、茶道体験をしました



大分日本ポルトガル協会

■事務局 大分市企画部国際課
■TEL 097-537-5719
■FAX 097-536-4044
■メール kokusai@city.oita.oita.jp

編集者だより

2025年は、アベイロ市親善訪問団が2018年以来7年ぶりに大分市を訪れ、エステベス市長らが足立市長への表敬訪問や市民との交流を行いました。当会も会員の皆様のご協力を得て歓迎会を開催し、ポルトガルとの絆を深めることができました。さらに岩田学園プロジェクト部によるアベイロ市での国際交流や、駐ポルトガル太田大使の来訪など、盛りだくさんの一年となり、充実した活動を展開できたと考えております。今後とも会員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

■アベイロ市訪問報告 ―未来をつくる高校生たちの国際探究交流―

株式会社OX／岩田学園プロジェクト部顧問
安部永一郎

本年9月、岩田学園プロジェクト部の活動の一環として、代表生徒2名がポルトガル・アベイロ市を訪問し、歴史文化学習および現地高校生との国際探究交流を行いました。大分市とアベイロ市の長きにわたる友情の歴史を、若い世代が主体となって未来につなぐ機会となりました。

現地では、アベイロ市役所訪問、博物館や美術館の見学、Homem Cristo校の生徒たちとの交流授業などを実施しました。生徒たちは英語を用いて自己紹介や活動紹介を行い、アベイロの歴史、文化、環境への取り組みについて互いに学び合いました。また、生徒が作成したデジタルコンテンツの発表やオンライン交流会、多文化協働型のワークショップを行い、現地の若者たちと未来の地域づくりについて活発に意見を交わしました。



代表生徒2名が現地高校生との国際探究交流を行う様子

生徒たちにとって、異なる文化圏で自らの言葉で表現し、聞き、協働する経験は大きな成長につながりました。交流を経て「国際交流は観光ではなく相互理解と共創である」という気づきを得た様子は大変心強く、これからの大分とアベイロ市の架け橋としての役割が期待できます。



アベイロ市役所を訪問する代表生徒2名とジョゼ・リバウ・エステバス市長(中央)



アベイロ博物館を訪問し、博物館担当者から説明を受ける代表生徒2名

今回の訪問で得た学びを地域社会に還元し、次年度以降はさらに人数や募集を拡張し、両市の高校生共同プロジェクトとして発展させる予定です。交流を受け入れてくださった皆様に心より御礼申し上げるとともに、今後も若い世代が国際的な視野をもって地域を支える人材へと成長していく場づくりに努めてまいります。

在ポルトガル日本国大使館 太田 全権特命大使の来市 (2025年3月16～17日)

在ポルトガル日本国大使館の太田 特命全権大使が、2025年3月16日から17日にかけて大分市を訪れ、足立市長への表敬訪問や南蛮文化ゆかりの施設視察などの公務を行いました。16日、大使は到着後、南蛮BVNGO交流館にて杉村会長と面会し、2024年に在ポルトガル日本国大使館およびアベイロ市を訪れた高橋市議会議員や大分シンフォニック・ウインド・オーケストラのメンバーとも再会。館内展示や大友氏館跡庭園を見学し、「南蛮文化の足跡を直接確認し、大分とポルトガルの長い歴史的つながりを改めて実感した」と、両地域の交流への強い関心が示されました。



南蛮BVNGO交流館内での交流



大友氏館跡庭園での説明

17日には、神宮寺浦公園や遊歩公園に設置された南蛮文化関連の像を視察した後、岩田学園を訪問。生徒たちがデジタル技術を活用し、大分とポルトガルを結ぶ新たな交流のあり方を提案すると、大使は熱心に耳を傾けていました。あわせて、生徒が制作したVR（専用のゴーグルをかぶって、映像の世界を実際に体験しているように感じられる仮想現実）作品も体験し、その創意工夫に感心を示されました。その後、訪れたアルメイダ病院では、白鳥病院長と面談するとともに、アルメイダ研修会館内のアルメイダメモリアルホールでルイス・デ・アルメイダやポルトガルゆかりの資料を見学。医療と歴史の両面から地域のつながりを深める貴重な機会となりました。



遊歩公園での説明



岩田学園でのVR体験



アルメイダ研修会館の視察

大分市を発つ直前には足立市長と清水副市長を表敬訪問し、今回の視察を総括。太田大使は「ポルトガルは日本文化への親しみが深く、特にアニメを通じて若い世代の関心が高まっています。大分市にも多くのポルトガルの方々が訪れるよう、現地でのPRに努めたい。」と今後の意欲を語りました。足立市長との懇談では、双方が交流の深化と大分市のさらなる発展に向け意見を交わし、今後も大分とポルトガルの架け橋となる取り組みが期待されます。



左から 清水 副市長、太田 大使、足立 市長

大分日本ポルトガル協会のあゆみ

年	出来事
1977年 (昭和52年)	大分日本ポルトガル協会発足
1978年 (昭和53年)	大分市とポルトガル・アベイロ市が姉妹都市を提携
1991年 (平成3年)	吉川暉大分医師会会長がポルトガル名誉領事に就任
2003年 (平成15年)	ポルトガルの食文化に触れるタベ開催
2004年 (平成16年)	ポルトガルワインのタベを初開催。以降、毎年開催
2006年 (平成18年)	シャムスカ監督と語ろうポルトガル講座（～2008年）
2007年 (平成19年)	ポルトガル・コインブラ大学OB合唱団大分公演の協力
2008年 (平成20年)	コインブラ吹奏楽団ジャパンツアー2008大分公演の協力
	大分市・アベイロ市姉妹都市提携30周年記念 ポルトガル・アベイロのタベを開催
2013年 (平成25年)	大分市・アベイロ市姉妹都市提携35周年記念 当協会によるアベイロ市親善訪問団歓迎会を開催
2018年 (平成30年)	大分市・アベイロ市姉妹都市提携40周年記念 当協会によるアベイロ市親善訪問団歓迎会を開催
	大分市青少年アベイロ市派遣事業への協力
2024年 (令和6年)	アベイロ市主催の姉妹都市提携45周年記念式典及び運河フェスティバルへの、当協会会員である大分シンフォニック・ウインド・オーケストラ選抜メンバーを派遣
2025年 (令和7年)	当協会及び大分市国際都市交流親善会議の共催でアベイロ市親善訪問団歓迎会を開催



姉妹都市40周年記念
アベイロ市訪問団受入（2018年）



大分市青少年アベイロ市派遣
（2018年）



コインブラ吹奏楽団
ジャパンツアー2008